

縮小社会研究会



第 51 回研究会

日時：2021年3月25日、19:00-20:30

所：オンライン(zoom)

<https://us02web.zoom.us/j/81188900881?pwd=TCt50VRUeXcrWlFzQnQ5ek5zZ0FVZz09>

ミーティング ID: 811 8890 0881

パスコード: 449751

日本の食料自給率は38%（エネルギーベース）であり、世界のどこかで何かが起これば壊滅的な混乱に陥る可能性があります。現に昨年のコロナ禍では、いくつかの国が食料輸出制限の動きをみせました。また、現在の農業は化学肥料、農薬、トラクターなど依存しているが、その元である化石燃料の枯渇もあります。また、農家の経営や持続も難しくなっています。そして、昨年に種苗法改正がなされました。そこで、松平尚也さんに下記の講演をしていただきます。

日本の農業・農村の未来

種苗法改正とみどりの食料システム戦略を考える

松平尚也さん

講演要旨： 日本の主要作物・稲・麦・大豆の種子の安定生産を担保してきた種子法が2018年に廃止され、昨年12月には、種苗法も改正され日本農業の基盤の大きな変化が起こっています。一方で欧米のグリーンニューディールに影響の元、日本でもみどりの食料システムという日本版グリーンニューディールが検討されています。その中で有機農業や持続可能な農業はどう展開予定で農業・農村にどのような影響を与えるのか。農業者の立場からお話します。



松平さんの紹介： 農・食・地域の未来を視点に情報発信する農家ジャーナリスト。京都市・京北地域の有機農家。京都大学農学研究科に在籍し世界の持続可能な農や食について研究もする。NPO法人AMネットではグローバルな農業問題や市民社会論について分析している。農場「耕し歌ふあーむ」では地域の風土に育まれてきた伝統野菜の宅配を行いレシピと一緒に食べ手に伝えている。

参加登録： 非会員の方は、松久 (h.matsuhisa@shukusho.org) まで氏名と所属などをお知らせ願います。参加費は無料です。